

横浜市交通局
 三井住友カード株式会社
 ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
 株式会社ジェーシービー
 オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
 QUADRAC 株式会社

**横浜市営地下鉄の全40駅でクレジットカード等の
 タッチ決済による乗車サービスの実証実験を開始します
 ～2024年内に改札機へ専用リーダーを設置～**

横浜市交通局（神奈川県横浜市、局長：三村 庄一）、三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：大西 幸彦）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：シータン・キトニー）、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役兼執行役員社長：二重 孝好）、オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：四方 克弘）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 昌幸）は、2024年以内に、横浜市営地下鉄の全40駅で三井住友カードが提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit（ステラトランジット）」を活用し、タッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等による乗車サービスに関する実証実験を実施することについて、以下の通りお知らせします。

クレジットカードやデビットカード等のタッチ決済による乗車では、ICカードへのチャージやきっぷの購入が不要となり、お客様がお持ちのタッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）や同カードが設定されたスマートフォン等を、自動改札機に新たに設置する専用リーダーにタッチすることで改札を通過できます。



タッチ決済の読取部

自動改札機（専用リーダー）のイメージ

横浜市交通局では、沿線にお住まいの方やインバウンドをはじめとする横浜を訪れる方に、より便利で快適な鉄道サービスを今後も引き続き提供してまいります。本サービスの概要は次ページ以降のとおりです。

本サービスの概要 ※詳細はサービスの実証実験開始前に改めてお知らせします。

■乗車方法

お持ちのタッチ決済対応のカード（クレジットカード・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等を、自動改札機に新たに設置する専用リーダーにタッチすることで、そのまま改札を通過しご乗車いただけます。

■対象駅

横浜市営地下鉄 ブルーライン・グリーンラインの全 40 駅

※専用リーダーを設置した自動改札機を各改札口に 1 台設置します



■開始時期

2024 年内を予定

■決済ブランド

Visa、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯

※Mastercard®については、今後追加予定

■各社役割

横浜市交通局	鉄道の運行、タッチ決済対応設備の整備、タッチ決済を活用した企画の実施
三井住友カード株式会社	キャッシュレス決済の導入支援、“stera transit”プラットフォームの提供、銀聯のタッチ決済に関するソリューションの提供
ビザ・ワールドワイド	Visa のタッチ決済に関するソリューションの提供・認知プロモーション
株式会社ジェーシービー	キャッシュレス決済の導入支援、JCB および American Express、Diners Club、Discover のタッチ決済に関するソリューションの提供、認知プロモーションの実施
オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社	タッチ決済対応改札機の開発
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム“Q-move”の提供

■タッチ決済について

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、同カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要(※)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進むなど、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。

※一定金額を超えるお支払いは、カードを専用の端末へ挿入し暗証番号を入力するか、サインによる本人確認が必要となります。



■stera transit について

stera
transit

「stera transit」は、三井住友カードが提供する公共交通機関向けのタッチ決済ソリューションです。キャッシュレス決済の導入に関する課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォーム「stera」と、国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用しています。現金や事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済の促進」など、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されています。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。

以上